

517人、期待胸に一步

美方郡内で一斉入学式

満開の桜が春風に揺らぎ、春の陽気に包まれた8日、香美、新温泉町両町の小学校、高校で一斉に入学式が行われた。小学生154人、中学生179人、高校生184人の計517人が不安と期待を胸に新生活へのスタートを切った。

編入統合のため来年3月

末に閉校となる香美町香住区の余部、長井、柴山の3小学校では最後の新入生を迎えた。

2年ぶりの入学式となった同区余部の余部小には、山西緋色さん(7)と山本耕大さん(6)の2人が入学。2人は木村好伸校長の訓示に元気な返事を返し、「勉強

強やプールの授業が楽しみ。かつこ良い1年生になりたい」と期待を膨らませていた。

新温泉町芦屋の浜坂高には、真新しい制服に身を包んで緊張気味の表情を浮かべた新入生57人が入学。西岡優子校長は「知性と教養、品格を身につけ、豊かな情

操と道徳心を養ってほしい」と激励した。新入生を代表してステージで宣誓を行った神野幸太郎さん(15)は「諸規則を守り、心身を鍛え、何事にも懸命に取り組むことを誓います」と力強い声で読み上げた。

(足立七海、安部航太)



新入生を代表して、力強く宣誓する神野さん＝8日、新温泉町芦屋の浜坂高